



旭山で短期間見られる野鳥 ～ 春編

旭山記念公園周辺では繁殖せず、春の移動時期に短期間見られる野鳥をまとめてみました。

カッコ内は（最初に見られる時期 旭山での滞在期間）です。

◎道内で繁殖し、南からの移動の途中で旭山に立ち寄る夏鳥。繁殖地は山林・高標高地や草原など
ルリビタキ（4月中旬 2週間）：観察機会が多く人気者です。

旭山滞在中は囀りはめったにしません（写真右上 男）

ノビタキ（4月中旬 1～3日）：噴水広場付近で毎年観察情報が
あり目に留まりやすい鳥です（写真右真ん中 女）

コマドリ（5月上旬 3～5日）：「ヒンッ カラカラカラ」とい
う威勢のいい囀りが森の家の裏などで聞かれます

エゾムシクイ（5月上旬 2週間）：「ヒーツーチー」という金属
的な高い囀りが滞在中は意外とよく聞かれます

ビンズイ（4月下旬 1週間）：近づくと数羽で地面から飛び上が
って逃げますが比較的近くで観察できます（写真右下）

ベニマシコ（4月上旬 3週間）：「ピッ ポッ」という音程が違う
2音で鳴き分かりやすい鳥です

クロジ（4月下旬 1～5日）：「チッ」という地鳴きがアオジとよ
く似ている場所も同じ、観察には要注意です

アカハラ：道内に多い夏鳥ですが、旭山では4月中旬に現れ5月
以降はなぜかほとんど見られなくなります

その他・・・ノゴマ、マミジロ、サメビタキ、ジュウイチ
（以上5月 散発的）

◎旭山は通過するだけの旅鳥もしくは冬鳥

（基本道内では繁殖しない、旭山には春と秋に訪れる）



ミヤマホオジロ（3月下～4月上旬 1～3日）：春はごく短期間見
られるだけです（今年の春は観察情報なしでした）

カシラダカ（4月中～下旬 散発的）：噴水広場周辺の開けた場所
で少数が短期間見られます。雄の夏羽が見られることもあります

ジョウビタキ（4～5月上旬 散発的）：旭山でもごく少ないですが
ほぼ毎年観察情報があります

マミチャジナイ（4月下旬 3週間）：近づくと一度木にとまって遠
くに逃げます。この中では比較的長い期間見られます（写真左）

シロハラ（4月中旬 数日）：行動はマミチャジナイ同様ですが数は少ないです

ムギマキ（5月上～中旬 1～5日）：稀に囀りも聞かれます。森の家周辺が観察ポイントです

レストハウス「ぽるく」2022年4月23日(土曜日)10時オープン！

旭山記念公園レストハウスぽるくは、4月23日10時に今年度の営業が始まります。

今年も「西興部のソフトクリー夢」、お弁当、軽食、コーヒーそして自然の動植物をモチーフにしたグッズを取り揃えて皆様のお越しをお待ちしております！

営業は17時まで。天文イベントなどがあるときは営業時間を夜まで延長する日も設ける予定です。

旭山野鳥メモ③⑥ヤブサメ

ヤブサメ Asian Stubtail *Urosphena squameiceps* スズメ目ウグイス科

日本全国で夏鳥。北海道への渡来は4月下旬、10月前半まで滞在。

笹藪の中で暮らし開けた場所にはめったに出てこないため目視が「困難な」鳥といわれるが、案外観察機会は多い。コツは、囀りもしくは「チャツ」という地鳴きが聞こえたら笹藪の前でしゃがむこと。立っている人の目線では笹の葉が視界を遮るが、しゃがむと茎の合間を動く姿を見つけることができる。しかもその場合警戒心が薄めなので動きを追うこともできる。ただし AF 撮影は難易度やや高い(以上ウグイスも同様)。

6月に雛が巣立つと家族連れ立って行動するようになり、その頃には笹藪の中のちょっとした開地や道を横切る際に姿を見つけやすくなる。

漢字で「藪雨」、♪シリシリシリという囀りの声が笹藪に当たる雨の音のように聞こえるという説。または「藪鮫」、藪の中を潜行する姿や顔が鮫に似ているから、との説も(似てる?)

その囀りを虫の声だと思っていたという人が結構いる。夜にも囀るので余計にそう感じるのだろう。その囀り、昼間は2~5秒程だが夜には10秒以上続けて鳴く。なぜかは分かっていない。

またこの囀りは周波数が高いため高齢になると聞こえないという方もいる。

英名の"Stubtail"「千切れて短くなった尾」という意味の通り尾羽が短い。体も日本で Top10級の小ささだが、脚が意外と太くて長くがっしりしている。主に地上で活動する鳥にはありがちな特徴だ。

地味な色合いだが見つけられると嬉しいかわいい。ヤブサメは観察会の名わき役といったところか。



2022年4月の野鳥トピックス

◎夏鳥渡来情報 到着済 キジバト=3/18 イカル=3/23 ヤマシギ=3/29 モズ=3/31 ホオジロ=4/4
ベニマシコ=4/5 キセキレイ=4/5 トラツグミ=4/6 ルリビタキ=4/7

・シマエナガ:4月中には巣作りも終わり抱卵・育雛に入ります

・キクイタダキ:3月下旬に雄が頭の羽を広げる繁殖期特有の行動が見られました(まだこの先見られる可能性があります)

例年4月に観察機会が増えますが今年はどうでしょうか

・ミソサザイ:沢周辺で見られており真冬より観察機会が増えました

・イスカ:3月下旬この春初認。4~5月上旬何度か見られるかも

・マヒワ:4月になり20羽程度の群れも見られるようになりました

・ウソ:4月もまだ見られそうです。亜種アカウソの観察情報もありました

・クマゲラ:今年は園内での観察情報は少ないです ・ヤマゲラ:園内での観察機会が増えてきています

◎4月中に渡来する夏鳥:ウグイス、アオジ、メジロ、ヤブサメ、クロツグミ、センダイムシクイなど



花の名前を思い出そう!

毎年春になると悩まされるのが「花の名前」。4か月近く雪に閉ざされる札幌。

春になって、花~特に草本の名前を度忘れする、なんてありませんか?

そこで今回は旭山で4月中に咲く花の写真を並べてチェックしてみます。

思い出せましたか? 既に咲いている花もあります。

エゾエンゴサク紫花→

今年もたくさんの花との出会いを楽しんでゆきたいですね。



アキタブキ(フキノトウ)



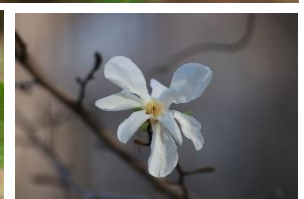
ナニワズ



エゾエンゴサク



エンレイソウ



キタコブシ



公式サイト

「アカゲラ通信」 第100号 2022(令和4)年4月8日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351